

30番の歌 私の父、私の神、私の友

エホバはあなたのことを見ています

「エホバは優しい愛情にあふれ[る]方」。ヤコブ 5:11 私たちは、忍耐した人は幸せである(*祝福されています)と考えます。皆さんはヨブの忍耐について聞き、ヨブがエホバ(*)のおかげでどんな結末を迎えたかを知っています。エホバ(*)は優しい愛情(*思いやり)にあふれ、憐れみ深い方なのです。

ポイント：エホバの愛について考えると、エホバに引き寄せられます。安心でき、優しい気遣いを感じ、力を取り戻すことができます。

1. あなたはエホバについてどんなイメージを持っていますか。

エホバについて考える時、どんなイメージが浮かびますか。祈る時はどうですか。私たちはエホバの姿を見ることはできませんが、聖書のいろんな表現からエホバがどんな方かについて知ることができます。例えば、エホバは「太陽、盾」、「焼き尽くす火」と表現されています。（詩84:11 エホバ神は太陽、盾。恵みと栄光を与えてください。エホバは潔白に歩む人に良いものを出し惜しみしません。ヘブ12:29 私たちの神は、焼き尽くす火なのです）エゼキエルは幻の中で、エホバの周りがサファイアや琥珀金や虹のように光り輝いている様子を見ました。（エゼ1:26-28 生き物の頭上にある台座(*大空)の上には、サファイアの石のようなものがあり、それは王座のようだった。上にあるその王座には、人間のような姿をした方が座っていた。27 その方の腰と思われる所から上には、琥珀金のように光るもののが見え、火が出ているかのようだった。腰から下にも、火のようなものが見えた。その方の周りは光り輝いており、28 雨の日に雲に懸かる虹のようだった。周りの輝かしい光はそのように見え、エホバの栄光のようだった。それを見た時、私はひれ伏した。すると、誰かが話す声が聞こえてきた）エホバについてこのように表現されていることを考えると、あまりにも素晴らしい表現かもしれません。

2. エホバに近づきにくく感じる理由にはどんなものがありますか。

2 エホバは目に見えないので、エホバが自分のことを愛してくれていると信じるのを難しく感じことがあるかもしれません。過去につらい経験をしたために、「エホバが自分のことを愛してくれるはずがない」と思う人もいます。父親に愛された記憶がないという人もいます。エホバは、私たちのそうした気持ちやエホバに近づきにくく感じる理由をご存じです。それで私たちのために、ご自分がどんな方かを聖書の中で教えてくれています。

3. エホバの愛について考えることはどうして大切ですか。

3 エホバを一言で言い表すなら、愛です。（ヨハ一4:8 愛さない人は、神をよく知りません。神は愛だからです）エホバの行動一つ一つには愛が表れています。その愛はとても温かくて強力です。エホバはご自分を愛していない人にも愛を示します。（マタ5:44, 45 しかし私は言います。敵を愛し続け、迫害する人のために祈り続けなさい。45 自分が天にいる父の子であることを示すためです。父は悪人にも善人にも太陽を昇らせ、正しい人にも正しくない人にも雨を降らせてくださるのです）この記事では、エホバとエホバの愛について学びます。エホバについて知れば知るほど、エホバへの愛が深まるでしょう。

エホバは私たちのことを心から愛している

4. エホバの優しい愛情について考えると、どんな気持ちになりますか。（写真も参照。）

4 「エホバは優しい愛情にあふれる[る]方」です。（[ヤコ 5:11](#) 私たちは、忍耐した人は幸せである(*祝福されている)と考えます。皆さんはヨブの忍耐について聞き、ヨブがエホバ(*)のおかげでどんな結末を迎えたかを知っています。エホバ(*)は優しい愛情(*思いやり)にあふれ、憐れみ深い方なのです）聖書の中でエホバはご自分のことを愛情深い母親に例えています。（[イザ 66:12, 13](#) エホバはこう言う。「私は、川のように豊かな平和を彼女に与え、国々の栄光を激流のように彼女に向かわせる。あなたたちは乳を飲み、腕に抱かれて運ばれ、膝の上であやされる。13 母親が子を慰めるように、**私もあなたたちを絶えず慰める**。あなたたちはエルサレムのことで慰められる）**幼い子供を優しく世話をしているお母さん**の様子をイメージしてみてください。子供を膝の上であやしながら、穏やかな声で話し掛けています。子供がつらそうにしていたり泣き出したりすると、何を必要としているかを確かめ、子供のために行動します。**私たちもつらいとき、エホバがこの母親のように行動してくれることを確信できます**。詩編作者はこう書きました。「心配事で圧倒されそうな時、あなたは**私を安心させ、落ち着かせてください**」。（[詩 94:19](#) 心配事で圧倒されそうな(*不安な気持ちでいっぱいになった)時、あなたは**私を安心させ(*慰め)**、**落ち着かせてください**）



「母親が子を慰めるように、私もあなたたちを絶えず慰める」。（4節を参照。）

5. エホバの揺るぎない愛は、どのように私たちのためになりますか。

5 エホバは**揺るぎない愛で満ちています**。（[詩 103:8](#) エホバは憐れみ深く、思いやり(*慈しみ)がある。すぐ~~に怒らず、揺るぎない愛(*愛ある親切)に満ちている~~）私たちが何か間違いを犯したとしても、見放したりしません。イスラエル人は何度も何度もエホバをがっかりさせてきました。でも、自分たちの間違いを認め、行動を改めた時、エホバは**変わらず愛していることを**このように言い表しました。「私はあなたを**貴ぶ**ようになり、重んじ、愛した」。（[イザ 43:4, 5](#) 私はあなたを**貴ぶ**ようになり、重んじ、愛した。それで、あなたの代わりに人々を与える、あなたの命と引き換えに国々を与える。5 恐れてはいけない。私はあなたと共にいる。東からあなたの子孫を連れてきて、西からあなたを集める）**エホバは変わっていません**。今でも私たちのことを**愛している**と確信できます。何か**重大な間違いを犯した**としても、エホバは私たちのことを**見捨てたりしません**。**自分の間違いを認めてエホバのもとに戻る**なら、**私たちのことを変わらずに愛してくれます**。エホバは「**寛大に許してください**」と**約束**しています。（[イザ 55:7](#) 悪い行いをやめ、有害な考えを捨てよ。憐れんでくださるエホバのもとに帰れ。私たちの神のもとに帰れ。神は**寛大に(*惜しみなく)許してください**）**エホバから許してもらった時**、「**爽やかにす**

る時期がエホバから来[る]」のを経験できるでしょう。（[使徒 3:19](#) ですから、罪を消し去っていただるために、悔い改めて生き方を変えなさい。そうすれば、爽やかにする時期がエホバから来て、）

6. [ゼカリヤ 2章 8節](#)からエホバについてどんなことが分かりますか。

6 [ゼカリヤ 2:8](#) 大軍を率いるエホバは、栄光をお受けになった後、あなたたちから略奪していた国々に私をお遣わしになりました。その方はこう言っています。『あなたたちに触れる者たちは私の瞳(*眼球)に触れているのであるを読む。エホバは私たちのことを瞳に例えています。目は体の中でも特に傷つきやすく、大切な部分です。エホバは「あなたが傷つく時、私も大切なものを傷つけられているように感じる」と言っているかのようです。エホバは私たちのことを愛しているので、私たちの気持ちのちょっとした変化にも気付き、私たちを守りたいと思ってくれています。私たちがつらい気持ちになる時、エホバも同じようにつらく感じるのです。それで私たちは、「私をあなたの瞳のように守ってください」と祈ることができます。（[詩 17:8](#) 私をあなたの瞳のように守ってください。あなたの翼の陰に隠してください）

7. エホバに愛されているという確信を強めなのはどうしてですか。

7 エホバはあなたに、エホバに愛されていることを確信してほしいと思って

います。それでも、過去のつらい経験や今抱えている問題のために、「本当にエホバに愛されているんだろうか」と感じる場合があることも分かってもらっています。では、どうすればエホバに愛されていることをもっと確信できるでしょうか。エホバがイエスや天に行くよう選ばれた人たちや私たち全てに対してどのように愛を表しているかに注目してみましょう。

エホバは愛を表している

8. イエスがエホバに愛されていることを確信していたのはどうしてですか。

8 エホバとイエスは親子の強い絆で結ばれています。誰よりも長く一緒に時間を過ごし、特別な関係を築いてきました。[マタイ 17 章 5節](#) ペテロがまだ話しているうちに、明るい雲が皆を覆った。そして何と、雲の中から声があって、「これは私の愛する子、私はこの子のことを喜んでいる。彼の言うことを聞きなさい」と言ったにある通り、エホバはイエスを愛していることをはっきりと伝えました。その時、エホバはただ「私はこの子のことを喜んでいる」と(だけ)言うこともできましたが、イエスを「私の愛する子」と呼び(付け加え)ました。イエスを愛していることを私たちにも知ってほしいと願っていたからです。人々を救うために自分を差し出したイエスの生き方を、エホバはとても誇りに思っていました。（[エフェ 1:7](#) その豊かな惜しみない親切のおかげで、私たちはキリストの血によって贖われ(*)、解放されています。過ちを許されているのです）イエスも、エホバに愛されていることを決して疑わず、そのことへの確信を何度も言い表しました。（[ヨハ 3:35](#) 父は子を愛していて、全てのものを子に委ねた；[10:17](#) 父は私を愛してください。私が命をなげうつからです。それは私が再び命を受けるためです；[17:24](#) 父よ、私に託してくださった人々が私のいる所に一緒にいるようにと願います。世が始まる前に私を愛して与えてくださった栄光を彼らが見るためです）

9. 天に行くよう選ばれた人たちをエホバが愛していることはどんな表現から分かりますか。（[ローマ 5:5](#)）

9 ローマ 5:5 その希望が失望に至ることはありません。私たちに与えられた聖なる力によって、神の愛が心の中に注がれているからですを読む。エホバは天に行くよう選ばれた人たちにも愛を表しています。この聖句の「注がれている」という表現に注目してみましょう。ある参考文献はそれを「勢いよく流れ川のようだ」と説明しています。天に行くよう選ばれた人たちのことをエホバがどれほど愛しているかをイメージすることができます。天に行くよう選ばれた人たちも、「神に愛され」ていることを確信しています。 (ユダ 1 イエス・キリストの奴隸で、ヤコブの兄弟であるユダから、父である神に愛され、イエス・キリストのために守られている、招かれた人たちへ) そのことについて使徒ヨハネは、「天の父が私たちにどのような愛を示してくださったかを考えてください。私たちは神の子供と呼ばれるほど愛されて[います]」と書きました。 (ヨハ一 3:1 天の父が私たちにどのような愛を示してくださいましたかを考えてください。私たちは神の子供と呼ばれるほど愛されており、確かに神の子供です。そのため、世の人々は私たちを知りません。神を知らないからです) では、エホバが愛しているのは天に行くよう選ばれた人たちだけなのでしょうか。そうではありません。エホバは私たち全てのことを愛しています。

10. エホバが私たちのことを愛してくださっているといえる最大の証拠は何ですか。

10 エホバが私たちを愛しているといえる最大の証拠は何でしょうか。贖いです。これほど大きな愛が示されたことはありません。 (ヨハ 3:16 神は、自分の独り子を与えるほどに人類を愛したのです。そのようにして、独り子に信仰を抱く人が皆、滅ぼされないで永遠の命を受けられるようにしました。 ロマ 5:8 しかしキリストは、私たちがまだ罪人だった間に、私たちのために死んでくださいました。そのことにより、神はご自分の愛を私たちに示してくださっています) エホバは人類全てのために大切な息子であるイエスを犠牲にしてくださいました。おかげで私たちの罪は許され、エホバと友になることができるようになりました。 (ヨハ一 4:10 私たちが神を愛したというより、神が私たちを愛し、私たちの罪を償う(*私たちを神と和解させる)犠牲としてご自分の子を遣わしてくださったのです。これこそが愛です) エホバとイエスがどれほど大きな犠牲を払ってくださったかについて考えると、私たち一人一人のことをどれほど愛してくださっているかが分かります。 (ガラ 2:20 私はキリストと共に杭にくぎ付けにされています。もう自分のためには生きておらず、キリストと結び付いて生きています(d*生きているのはもはや私ではなく、私と結び付いて生きているキリストです)。人間としての今の命を、神の子への信仰によって生きているのです。神の子は私を愛し、私のために自分を差し出してくださいました) 贖いはただエホバの正しい基準を満たすためのものではありません。愛のこもったエホバからの贈り物です。エホバは私たちを愛しているので、ご自分にとて一番大切な息子であるイエスが苦しんで死ぬのを許すことまでしました。

11. エレミヤ 31 章 3 節からどんなことを学べますか。

11 ここまで見てきたように、エホバは私たちにただ愛を感じているだけではなく、私たちのことをどれほど愛しているかを伝えてくれています。 (エレミヤ 31:3 遠くからエホバが私に現れて言った。「私は永遠の愛をもってあなたを愛してきた。そのため、搖るぎない愛をもってあなたを引き寄せた(*あなたに搖るぎない愛を示し続けてきた)のであるを読む。) エホバは私たちを愛しているので、ご自分のもとに引き寄せてくださいました。 (申命記 7:7, 8 エホバが愛情を示して皆さんを選ばれたのは、皆さんのが全ての民の中で最も数が多い民だったからではありません。皆さんは全ての民の中で一番少なかったのです。 8 ただ、エホバは皆さんを愛し、父祖たちにした誓いを守るために、エホバは力強い手で皆さんを連れ出し、奴隸となっていた土地から、エジプトの王ファラオの手から救い出し(d*買い戻し)たのですと比較。) エホバの愛から私たちを引き離せるものは何もありません。 (ロマ 8:38, 39 私は確信しています。死も、生も、天使も、政府も、今あるものも、これから来るものも、力も、39 高さも、深さも、ほかのどんな創造物も、主であるキリスト・イエスを

通して示される神の愛から私たちを引き離すことはできません) エホバの愛をじっくり考えると、あなたはどう感じますか。詩編 23 編を読んで、エホバの愛と優しい気遣いをダビデがどのように感じていたか、これから調べてみましょう。そうするなら、私たちも心を動かされることでしょう。

エホバの愛について考えると、どんな気持ちになるか

12. 詩編 23 編でダビデはどんなことを歌っていますか。

12 詩編 23:1-6 ダビデの歌。23 エホバは私の牧者。私は何も不足しない。2 導かれて青々とした牧草地に寝そべり、水の豊かな場所(if*静かな水辺)で憩いを得て、3 力を取り戻す。神がご自分の名のために、正しい道に(*正しいことを行うよう)導いてくださる。4 深い陰が覆う谷を歩んでも、何も悪いものを恐れない。あなたが共にいてくださるから。あなたの棒とつえによって安心できる(*慰められる)。5 私の敵の前で、あなたは食卓を整えてくださる。頭に油を塗って(*私をもてなして)くださる。私の杯は満たされる。6 一生涯、あなたの善い行いと搖るぎない愛は私を離れない。生きている限り、私はエホバの家に住むを読む。ダビデはエホバが愛し、優しく気遣ってくれていることを確信していました。そのことを詩編 23 編で歌っています。ダビデには、牧者であるエホバとの強い絆がありました。ダビデはエホバを心から信頼していました。エホバに導かれるようにしていたので、安心していられました。そして、エホバがずっと愛し続けてくれるということを信じていました。どうしてそう確信できたのでしょうか。

13. エホバが世話をくださることをダビデが確信できたのはどうしてですか。

13 「私は何も不足しない」。ダビデはエホバが必要な物を全て与え、世話をくださっているのを感じていました。また、エホバが自分のことを良いと認め、友になってくれていることも実感していました。それで、将来どんなことが起きるとしても、エホバが必ず世話をくださると確信していました。ダビデは、エホバが優しく気遣ってくださることを心から信じていたので、心配事があっても幸せな気持ちでいることができました。 (詩 16:11 あなたは命の道を私に知らせてください。あなたの前にはあふれる喜びがある。あなたの右には永遠の幸せがある)

14. エホバはどのように私たちのことを優しく世話をくださいますか。

14 エホバは、私たちが生活の中で大変な経験をする時には特に、優しく気遣ってくれます。ベルで 20 年以上奉仕しているクレアという姉妹は、家族の中で大変なことが次々に起きた時にどうしたらいいか分からなくなりました。*一部の名前は変えてあります。父親が脳卒中になり、妹は排斥され、家族がやっていた仕事がうまくいかなくなり、家を失いました。エホバは姉妹の家族をどのように優しく世話したでしょうか。姉妹はこう言っています。「エホバは私たち家族が必要な物に事欠かないようにしてくれました。エホバが私たちの想像を超えるほどたくさんのものを与えてくれたことが何度もありました。そうしたエホバの優しい愛を感じた時のことを時々思い返しています。絶対に忘れられない大切な思い出です。こうした思い出が大変な時にも頑張り続ける力になっています」。

15. ダビデが力を取り戻せたのはどうしてですか。 (挿絵も参照。)

15 「力を取り戻す」。ダビデはいろいろな問題を幾つも経験して、とてもつらく感じたことがあります。 (詩 18:4-6 死の網が私に巻き付き、どうしようもない人たちの激流に私はおびえた。5 墓(ヘ語シェオル)の網が私に絡み付き、死のわなに私は直面した。6 苦難の時に私はエホバに呼び掛けた。私の神に助けを求める)

て叫び続けた。神殿にいる神が私の声を聞いてくださった。助けを求める叫びが神の耳に届いた) でも、エホバが愛し、気遣ってくれていることを実感して、力を取り戻すことができました。まるでエホバが「青々とした牧草地」や「水の豊かな場所」に連れていってくれたように感じたのです。こうして力づけられたダビデは、エホバに喜んで仕えていくことができました。(詩 18:28-32 エホバ、私のランプをともしてくださるのはあなた。私の闇を照らす私の神。29 あなたの助けで、私は略奪隊に突撃できる。神の力によって、城壁をよじ登れる。30 真の神の道は完全、エホバの言葉は精錬されたもの。神のもとに逃れるなら、神は盾となってくださる。31 エホバのほかに誰が神なのか。私たちの神以外に誰が岩なのか。32 真の神が私に力をまとわせ、私の道を完全にする)



逃亡中も、ダビデはエホバの優しい愛や気遣いに力づけられた。(15節を参照。)

16. エホバの愛はあなたが力を取り戻すのにどのように助けになってきましたか。

16 私たちも大変な経験をすることがあります、「エホバの揺るぎない愛のおかげで」忍耐することができます。(哀 3:22 エホバの揺るぎない愛のおかげで、私たちは滅びませんでした。神の憐れみは決して絶えません。コロ 1:11 そして、神の偉大な力によって十分に強くなり、あらゆることを忍耐し、辛抱しつつ喜べますように) レイチェル姉妹の例を考えてみましょう。姉妹は、コロナのパンデミック中に夫がエホバから離れ、家を出ていってしまった時、とても大きなショックを受けました。エホバは姉妹のためにどんなことをしたでしょうか。姉妹はこう言っています。「エホバに愛されていることを実感できるようにしてくださいました。兄弟姉妹は一緒に時間を過ごし、食事を届けてくれました。温かいメッセージや聖句を送ったり、ほほ笑んで安心させたりもしてくれました。エホバが私のことを気遣ってくださっていることを思い起こせるようにもしてくれました。エホバがこのような温かい家族を与えてくださったことにいつも感謝しています」。

17. ダビデが「何も悪いものを恐れな[かった]」のはどうしてですか。

17 「何も悪いものを恐れない。あなたが共にいてくださるから」。ダビデは危険な目に何度も遭い、強い敵に立ち向かわなければならないこともたくさんありました。でも、エホバの愛を感じていたので、安心していることができました。エホバがどんな時にも一緒にいてくれるのを感じていたので、確信を込めてこう歌うことができました。「エホバは...全ての恐れから助け出してくださいた」。(詩 34:4 私が尋ねると、エホバは答えてくださった。全ての恐れから助け出してくださいた) ダビデは怖いと思うような経験を何度もしましたが、エホバの愛を感じていたので、恐れの気持ちを乗り越えることができました。

18. エホバに愛されているという確信は、恐れに立ち向かう上でどのように助けになりますか。

18 エホバに愛されているという確信は、恐れに立ち向かう上でどのように助けになるでしょうか。開拓者のスージー姉妹は、息子が自殺するという悲しい経験をしました。その時自分や夫がどう感じたかについて、こう言っています。「あまりにもつらいことが突然起きると、心が傷つき、もっと大変なことが起きるんじゃないかと怖くなります。でも、エホバの優しい愛について考えると、エホバに守られているように感じ、穏やかな気持ちになりました」。先ほどのレイチャエル姉妹はこう言います。「ある夜、とても悲しくなって不安や恐れの気持ちが押し寄せてきました。それで、泣きながらエホバに祈りました。すると、まるで赤ちゃんを腕に抱き寄せる母親のように、エホバが私を落ち着かせてくれるのを感じました。それで、安心して眠ることができました。あの時のことは忘れません」。長者のタソス兄弟は、軍隊に入ることを拒否したために刑務所に4年間入れられました。その間、エホバの愛や気遣いをどのように感じたでしょうか。こう言っています。「エホバは必要な物を与えるだけでなく、十分に世話をしてくれました。それで、エホバに心から頼ろうという気持ちが強まりました。エホバは、希望がないように思える状況でも喜べるように聖なる力を与えてくれました。エホバに頼れば頼るほどエホバの愛を実感できるということが分かったので、刑務所にいる間に正規開拓奉仕を始めました」。

優しいエホバがそばにいてくださる

19. (ア) エホバの愛を実感しているなら、どんなことを祈れますか。 (イ) エホバの愛を感じるお気に入りの聖句がありますか。(「エホバの温かい愛が表れている言葉」の囲みを参照。)

19 兄弟姉妹の経験からも分かる通り、「愛……の神」であるエホバが私たちと共にいてくださいます。(コリ二 13:11 最後に、兄弟たち、これからも喜び、正され、慰められ、同じ考え方をし、平和に生活してください。そうすれば、愛と平和の神が共にいてくださいます) エホバは、私たち一人一人のことを気に掛け、「揺るぎない愛」で包んでくださいます。(詩 32:10 悪人の苦痛は多い。しかしえホバに頼る人は、神の揺るぎない愛に包まれる) エホバがどのように愛を示してくださっているかについて考えれば考えるほど、エホバがもっと身近な存在になり、そばにいてくださることを確信できるでしょう。私たちにはエホバの愛が必要です。いつでも祈り、そのことをエホバに伝えましょう。また、心配事を全てエホバに委ねることができます。エホバが私たちのことをよく理解し、助けたいと思ってくださっていることを信じているからです。(詩 145:18, 19 エホバは、ご自分に呼び掛ける全ての人の近くにいる。ご自分に誠実に(*正しく)呼び掛ける全ての人の近くにいる。19 神はご自分を畏れる人の願いをかなえてくださる。助けを求める叫びを聞き、助け出してくださる)

エホバの温かい愛が表れている言葉

詩編 32:10 「エホバに頼る人は、神の揺るぎない愛に包まれる」。

エレミヤ 31:3 「私は永遠の愛をもってあなたを愛してきた。そのため、揺るぎない愛をもってあなたを引き寄せたのである」。

ヨハネ 16:27 「父はあなたたちに愛情を抱いています」。

ヤコブ 5:11 「エホバは優しい愛情にあふれ[る]方」。

20. エホバの愛について考えると、エホバに引き寄せられるのはどうしてですか。

20 寒い日にたき火の近くに行きたいと思うのと同じように、私たちはエホバの愛に引き寄せられます。エホバの愛は、強くて温かいものです。毎日の生活の中で、エホバに愛されているという幸せを感じるようにしましょう。そして、私たちもエホバを心から愛していることをエホバにぜひ伝えていきましょう。（[詩 116:1 私はエホバを愛する。私の声を](#)（if*私は愛する。エホバは私の声を）、[助けを求める願いを聞いてくださるから](#)）

どのように答えますか

1. エホバの愛についてどのように説明することができますか。

- ・S03 エホバを一言で言い表すなら、愛。エホバの行動一つ一つには愛が表れている。その愛はとても温かくて強力で、ご自分を愛していない人にも愛を示される。
- ・S04 エホバは優しい愛情にあふれる方で、幼い子供を優しく世話をしているお母さんのように、私たちがつらいとき、私たちを安心させ、落ち着かせてくださる。
- ・S05 エホバは揺るぎない愛で満ちていて、例え重大な間違いを犯したとしても、私たちを見捨てたりせず、私たちが自分の間違いを認めてエホバのもとに戻るなら、私たちのことを変わらずに愛してください。
- ・S06 エホバは私たちのことを瞳に例え、あたかも「あなたが傷つく時、私も大切なものを傷つけられているように感じる」と言っているかのよう。エホバは私たちのことを愛しているので、私たちの気持ちのちょっとした変化にも気付き、私たちを守りたいと思ってくれている。私たちがつらい気持ちになる時、エホバも同じようにつらく感じてくださる。

2. エホバが私たちを心から愛していることを確信できるのはどうしてですか。

- (・S07 エホバは私たちに、エホバに愛されていることを確信してほしいと思っておられる。)
- ・S08 エホバはイエスを愛していることをはっきりと伝え、人々を救うために自分を差し出したイエスの生き方を、エホバはとても誇りに思っておられた。イエスも、エホバに愛されていることを決して疑わず、そのことへの確信を何度も言い表わされた。
- ・S09 エホバは天に行くよう選ばれた人たちにも深い愛を表し、天に行くよう選ばれた人たちも「神に愛され」ていることを確信している。
- ・S10 エホバは人類全てのために大切な息子であるイエスを贖いとして犠牲にしてくださったゆえに、私たちの罪は許され、エホバと友になることができるようになつたので、私たち一人一人のことをどれほど愛してくださっているかが分かる。
- ・S11 エホバは私たちを愛しているので、ご自分のもとに引き寄せてくださった。エホバの愛から私たちを引き離せるものは何もないことが分かる。

3. エホバの愛について考えると、どんな気持ちになりますか。（ダビデの模範から）

- ・S12 ダビデには、牧者であるエホバとの強い絆があり、エホバを心から信頼し、エホバに導かれるようにしていたので、安心していられ、エホバがずっと愛し続けてくれるということを信じていた。
- ・S13 「私は何も不足しない」。ダビデはエホバが必要な物を全て与え、世話してくださっているのを感じ、エホバが優しく気遣ってくださることを心から信じていたので、心配事があつても幸せな気持ちでいることができた。
- ・S15 「力を取り戻す」。ダビデはいろいろな問題を幾つも経験して、とてもつらく感じても、エホバが自分を愛し気遣ってくれていることを実感していたので、力を取り戻し、エホバに喜んで仕えていくことができた。
- ・S17 「何も悪いものを恐れない。あなたが共にいてくださるから」。ダビデは危険な目に何度も遭い、強い敵に立ち向かわなければならないこともたくさんあったが、エホバの愛を感じていたので、恐れの気持ちを乗り越え、安心していることができた。